2023年11月17日制定
2024年12月20日改定

サイバー大学 アセスメントプラン 「I. 大学全体レベル」

サイバー大学では、アセスメント・ポリシーに基づき、入学から卒業後の各フェーズにおける学生の学修成果について、大学全体レベル、学位プログラムレベル、授業科目レベルの各段階で以下に定める様々な実施方法を用いて随時検証を行います。
以下では、「ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）」＝DP、「カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）」＝CP。「アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）」＝APと表記します。

アセスメントの目的

大学全体で掲げる人材育成目標を達成できているかどうかを多角的に点検・評価し、授業内容・指導方法、カリキュラムの改善だけでなく、入学者の受入れから卒業までの様々な活動および支援の充実・強化につなげることを目的とします。

達成すべき質的水準

APに対応して入学した者が、CPに沿って編成された教育課程での学修活動を経て、卒業までに学位プログラムにおけるDPに定めた能力を修得すること。

アセスメントの実施方法

I. 大学全体レベル

No.	名称	フェーズ	実施時期	対象者	実施内容	実施方法	主管部署	対応するポリシー	実施結果の報告・共有・活用方法	備考
1	入学判定審議	入学時	12～3月、7～9月	新入生	志望動機記入内容を基に、思考力・判断力・表現力等を評価して判定実施。入学区分や年齢層、学びたい内容等を把握。	Web出願サイトの入力項目を確認	学生部入試課	AP検証	入学判定審議会の審議結果を、教授会に報告して教職員に共有する。毎学期の出願者の傾向を把握し、大学が入学時に求める人物像とAPとの整合を確認するとともに、募集活動や学生支援の改善に活用する。	
2	基礎力診断テスト	入学時	3月、9月	新入生	入学時の基礎学力について、「国語」「数学」「英語」「情報」のテスト問題で検証。	Cloud Campus内のテストで実施	IT総合学部	AP検証	受験結果について、初年次必修科目で学生の確認と報告を促し、基準点未達の場合にはリメディアル科目の受講を誘導する。	
3	リメディアル教育	入学時	3～4月、9～10月	新入生	基礎力診断テストで基準点未満の学生を対象に行う各教科の復習教材により学生支援状況を把握。	外部教材で実施	IT総合学部	AP検証	リメディアル担当教員が確認を行い、初年次必修科目との連携を図りつつ、新入生指導の改善に活用する。	
4	新入生アンケート	入学時	5月、11月	新入生	入学動機、入学前の情報収集状況、入学後の状況について把握。	Webアンケート	学生部入試課	AP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。入試施策や入学前後における各種サポートの改善に活用する。	
5	新入生向け外部アセスメントテスト（GPS-Academic）	入学時	4月、10月	新入生	能力診断テストによる入学時の思考力・姿勢態度・経験スコアの把握および学生意識調査。全国の他大学における受検結果との比較検証。	外部テストで実施（インタビュー）	事業統制企画室	AP検証	内部質保証委員会での報告を経て、BIツールも利用しながら、分析結果を教職員に共有する。全国結果と比較して、入試広報・学生支援の改善と内部質保証に活用する。	
6	全学生アンケート	在学時	12～1月	在学生	学生生活全般に関する満足度調査。各種提供サービスへの要望受付。在学時における資格取得状況の確認、知識・能力の修得度合いに関する主観的評価を実施。	Webアンケート	学生部学生サポートセンター	CP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。各センターにおけるサポート対応の改善や、eラーニングシステムおよび各種提供サービスの改善に活用する。資格取得や知識・能力の修得度合いを基に、カリキュラム改善に活用する。満足度や修得度合いについて学生データとともに情報公開する。	
7	大学全体の受講継続率（学期内）	在学時	4～8月、10～2月	在学生	eラーニングシステムの学修ログによる大学全体での受講継続率の検証。	Cloud Campus内の学修ログで確認	教務部教務課	CP検証	授業開講期間中の全学運営委員会で隔週報告して教職員に共有する。大学全体の受講継続率について、過去年度の同時期と比較検証して、学期途中のドロップアウト防止に活用する。重要な指標として、二学期目の継続率は学生データとともに情報公開する。	
8	単位修得状況確認	在学時	3月、9月	在学生	各学期の成績情報を基に、単位修得状況の分布を把握。	履修成績システムで確認	教務部教務課	CP検証	教務部内で毎学期確認した結果を踏まえ、内部質保証委員会で年に一度、エビデンスデータとして収集・共有する。在学年数に応じた単位数を修得できていない学生への履修指導に活用する。	
9	GPAの確認	在学時	3月、9月	在学生	各学期の成績情報を基に算出されるGPAの状況について検証。	履修成績システムで確認	教務部教務課 学生部	CP検証	教務部内で毎学期確認した結果を踏まえ、規程に定めたGPA基準に満たない学生への履修指導に活用する。奨学金やインターン参加、早期卒業、大学院への進学等の条件で活用する。	
10	大学全体の履修継続率（学期間）	在学時	4月、10月	在学生	各学期の履修登録状況を把握することにより、大学全体での継続率を検証。	履修成績システムで確認	教務部教務課 教務部授業サポートセンター	CP検証	教務部内で毎学期確認した結果を踏まえ、自己点検・評価結果等で公表する。学生の履修相談や履修登録案内の改善に活用する。	
11	在学生向け外部アセスメントテスト（GPS-Academic）	在学時	4月、10月	在学生	能力診断テストによる在学中の思考力・姿勢態度・経験スコアの成長度合いの把握および学生意識調査。全国の他大学における同学年の受検結果との比較検証。	外部テストで実施（インタビュー）	事業統制企画室	CP検証	内部質保証委員会での報告を経て、BIツールも利用しながら、分析結果を教職員に共有する。学生の成長度合いや大学納得度等を全国結果と比較して、カリキュラム改善と内部質保証に活用する。	
12	退学・除籍・休学の分析	在学時	8月～10月	在学生	退学・除籍・休学の割合とそれぞれの理由について分類し、入学区分や年齢層などの属性別に検証。	届出もしくはヒアリング	学生部学生サポートセンター	CP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。退学・除籍・休学を未然に防ぐための履修継続支援や経済的支援の施策検討に活用する。	
13	在学生インタビュー	在学時	不定期	在学生	インタビュー対応可の学生をピックアップし、入学のきっかけから普段の学習方法、印象に残る科目、今後の目標などをヒアリング。	インタビュー	広報メディア開発部	CP検証	インタビュー記事をとりまとめ、大学ホームページで情報公開する。学内では教職員にSlackで共有し、多様な学生の学習方法を把握し、広報活用のほか、学内の各種支援や指導の改善に活用する。	
14	卒業後の進路調査アンケート	卒業時	3月、9月	卒業生	卒業後の就職・進学先、在学中の資格取得状況を把握。	Webアンケート	学生部キャリアサポートセンター	DP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。進路や資格取得状況について、大学および学部学科の人材育成目標との合致度合いを検証し、授業内容やカリキュラムの改善に活用する。許可を得られた範囲で卒業生の進路先として情報公開する。	
15	卒業生ディプロマ・ポリシー達成度アンケート	卒業後	7月	卒業生	卒業後1年未満の対象者に、DPに定めた能力の達成度について主観的評価を実施。	Webアンケート	教務部教務課 IT総合学部	DP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。結果を参考に、DPの達成度が低い項目を確認した上で、ポリシーとカリキュラムの整合と改善を図るために活用する。4年分の合算により、定期的に全学的なDP達成度について情報公表する。	
16	卒業生フォローアップアンケート	卒業後	6～7月	卒業生	卒業後1～3年未満経過した対象者に、キャリアの変化や卒業後に取得した資格の把握、知識・技能・態度等の成果を検証。	Webアンケート	学生部キャリアサポートセンター	DP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。結果を参考に、卒業生が能力を発揮できている、もしくは、できていない項目を確認し、授業内容やカリキュラムの改善に活用する。	
17	卒業生の就職先企業へのアンケート	卒業後	協力企業による（不定期）	卒業生	卒業生の就職先企業に対し、DP項目の修得度合いについて評価してもらい、企業内での仕事の状況や学生時代に身に付けてほしいことを確認。	記入用シートの提出	学生部キャリアサポートセンター	DP検証	学生部内で確認した結果を踏まえ、内部質保証委員会で年に一度、エビデンスデータとして収集・共有し、カリキュラム改善と内部質保証に活用する。	
18	卒業生インタビュー	卒業後	不定期	卒業生	インタビュー対応可の卒業生をピックアップし、入学経緯から大学時代に培われた成果、印象に残る科目、今後の目標などをヒアリング。	インタビュー	広報メディア開発部	DP検証	インタビュー記事をとりまとめ、大学ホームページで情報公開する。学内では教職員にSlackで共有し、多様な卒業生の活躍状況や教育の成果を把握し、広報活用のほか、学内の各種支援や指導の改善に活用する。	
19	卒業の分析	卒業後	8月	卒業生	入学区分別に修業年限内および修業年限1.5倍以内、在学年限内の卒業率を検証。	データベースの情報を利用して実施	学生部学生サポートセンター	DP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。退学・除籍・休学の分析と合わせて履修継続支援や経済的支援の施策検討に活用する。	

2023年11月17日制定
2024年12月20日改定

サイバー大学 アセスメントプラン 「Ⅱ．学位プログラムレベル」

サイバー大学では、アセスメント・ポリシーに基づき、入学から卒業後の各フェーズにおける学生の学修成果について、大学全体レベル、学位プログラムレベル、授業科目レベルの各段階で以下に定める様々な実施方法を用いて随時検証を行います。
以下では、「ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）」＝DP、「カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）」＝CP。「アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）」＝APと表記します。

アセスメントの目的

学位プログラムのDPで掲げる人材育成目標を達成できているかどうかを多角的に点検・評価し、授業内容・指導方法、カリキュラムの改善だけでなく、入学者の受入れから卒業までの様々な活動および支援の充実・強化につなげることを目的とします。

達成すべき質的水準

APに対応して入学した者が、CPに沿って編成された教育課程での学修活動を経て、卒業までに学位プログラムにおけるDPに定めた能力を修得すること。

アセスメントの実施方法
Ⅱ．学位プログラムレベル

No.	名称	フェーズ	実施時期	対象者	実施内容	実施方法	主管部署	対応するポリシー	実施結果の報告・共有・活用方法	備考
1	入学判定審議	入学時	12～3月、7～9月	新入生	志望動機記入内容を基に、思考力・判断力・表現力等を評価して判定実施。入学区分や年齢層、学びたい内容等を把握。	Web出願サイトの入力項目を確認	学生部入試課	AP検証	入学判定審議会の審議結果を、教授会に報告して教職員に共有する。毎学期の出願者の傾向を把握し、大学が入学時に求める人物像とAPとの整合を確認するとともに、募集活動や学生支援の改善に活用する。	I．大学全体レベルと共通
2	基礎力診断テスト	入学時	3月、9月	新入生	入学時の基礎学力について、「国語」「数学」「英語」「情報」のテスト問題で検証。	Cloud Campus内のテストで実施	IT総合学部	AP検証	受験結果について、初年次必修科目で学生の確認と報告を促し、基準点未達の場合にはリメディアル科目の受講を誘導する。	同上
3	リメディアル教育	入学時	3～4月、9～10月	新入生	基礎力診断テストで基準点未満の学生を対象に行う各教科の復習教材により学生支援状況を把握。	外部教材で実施	IT総合学部	AP検証	リメディアル担当教員が確認を行い、初年次必修科目との連携を図りつつ、新入生指導の改善に活用する。	同上
4	新入生アンケート	入学時	5月、11月	新入生	入学動機、入学前の情報収集状況、入学後の状況について把握。	Webアンケート	学生部入試課	AP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。入試施策や入学前後における各種サポートの改善に活用する。	同上
5	新入生向け外部アセスメントテスト（GPS-Academic）	入学時	4月、10月	新入生	能力診断テストによる入学時の思考力・姿勢態度・経験スコアの把握および学生意識調査。全国の他大学における受検結果との比較検証。	外部テストで実施（インタビュー）	事業統制企画室	AP検証	内部質保証委員会での報告を経て、BIツールも利用しながら、分析結果を教職員に共有する。全国結果と比較して、入試広報・学生支援の改善と内部質保証に活用する。	同上
6	全学生アンケート	在学時	12～1月	在学生	学生生活全般に関する満足度調査。各種提供サービスへの要望受付。在学時における資格取得状況の確認、知識・能力の修得度合いに関する主観的評価を実施。	Webアンケート	学生部学生サポートセンター	CP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。各センターにおけるサポート対応の改善や、eラーニングシステムおよび各種提供サービスの改善に活用する。資格取得や知識・能力の修得度合いを基に、カリキュラム改善に活用する。満足度や修得度合いについて学生データとともに情報公開する。	同上
7	学部全体の受講継続率（学期内）	在学時	4～8月、10～2月	在学生	eラーニングシステムの学修ログによる学部全体での受講継続率の検証。	Cloud Campus内の学修ログで確認	教務部教務課	CP検証	授業開講期間中の全学運営委員会で隔週報告して教職員に共有する。学部全体の受講継続率について、過去年度の同時期と比較検証して、学期途中のドロップアウト防止に活用する。重要な指標として、二学期目の継続率は学生データとともに情報公開する。	同上
8	単位修得状況確認	在学時	3月、9月	在学生	各学期の成績情報を基に、単位修得状況の分布を把握。	履修成績システムで確認	教務部教務課	CP検証	教務部内で毎学期確認した結果を踏まえ、内部質保証委員会で年に一度、エビデンスデータとして収集・共有する。在学年数に応じた単位数を修得できていない学生への履修指導に活用する。	同上
9	GPAの確認	在学時	3月、9月	在学生	各学期の成績情報を基に算出されるGPAの状況について検証。	履修成績システムで確認	教務部教務課 学生部	CP検証	教務部内で毎学期確認した結果を踏まえ、規程に定めたGPA基準に満たない学生への履修指導に活用する。奨学金やインターン参加、早期卒業、大学院への進学等の条件で活用する。	同上
10	学部全体の履修継続率（学期間）	在学時	4月、10月	在学生	各学期の履修登録状況を把握することにより、学部全体での継続率を検証。	履修成績システムで確認	教務部教務課 教務部授業サポートセンター	CP検証	教務部内で毎学期確認した結果を踏まえ、自己点検・評価結果等で公表する。学生の履修相談や履修登録案内の改善に活用する。	同上
11	在学生向け外部アセスメントテスト（GPS-Academic）	在学時	4月、10月	在学生	能力診断テストによる在学中の思考力・姿勢態度・経験スコアの成長度合いの把握および学生意識調査。全国の他大学における同学年の受検結果との比較検証。	外部テストで実施（インタビュー）	事業統制企画室	CP検証	内部質保証委員会での報告を経て、BIツールも利用しながら、分析結果を教職員に共有する。学生の成長度合いや大学納得度等を全国結果と比較して、カリキュラム改善と内部質保証に活用する。	同上
12	成績評価を基にしたDP達成度の可視化	在学時	3月、9月	在学生	成績評価を基に、DPに定める能力を段階的に修得できているかどうかを直接評価して検証。	eポートフォリオに表示	IT総合学部	CP検証	学期ごとの成績評価の結果を反映し、レーダーチャートで可視化する。学生のDP達成度を検証し、科目とDPとの対応が適正なものとなるように授業内容やカリキュラム改善に活用する。	Ⅱ．学位プログラムレベルのみ
13	オープンバッジの取得状況	在学時	3月、9月	在学生	マイクロクレデンシャルの取得状況を把握することにより、学生が身に付けたDPに関わる知識・技能の修得度合いについて数量的に検証。	オープンバッジウォレットで確認	教務部教務課 IT総合学部	CP検証	取得要件を満たした学生を全学運営委員会・教授会で審議し、マイクロクレデンシャルを交付する。全学生のなかでの修得度合いを参考に、対象科目の授業内容やカリキュラムの改善に活用する。	Ⅱ．学位プログラムレベルのみ
14	退学・除籍・休学の分析	在学時	8月～10月	在学生	退学・除籍・休学の割合とそれぞれの理由について分類し、入学区分や年齢層などの属性別に検証。	届出もしくはヒアリング	学生部学生サポートセンター	CP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。退学・除籍・休学を未然に防ぐための履修継続支援や経済的支援の施策検討に活用する。	I．大学全体レベルと共通
15	在学生インタビュー	在学時	不定期	在学生	インタビュー対応可の学生をピックアップし、入学のきっかけから普段の学習方法、印象に残る科目、今後の目標などをヒアリング。	インタビュー	広報メディア開発部	CP検証	インタビュー記事をとりまとめ、大学ホームページで情報公開する。学内では教職員にSlackで共有し、多様な学生の学習方法を把握し、広報活用のほか、学内の各種支援や指導の改善に活用する。	同上
16	卒業研究受講時のDP自己評価アンケート	在学時	8月、2月	在学生	卒業研究ゼミナール内で、DPに定める能力の学生自己評価を実施。	Cloud Campus内のアンケート機能で実施	IT総合学部	DP検証	学部運営委員会等で報告・共有する。ゼミナール担当教員は、卒業前における学生の主観的なDP達成度を確認するとともに、卒業研究の成果物から教員目線での到達度合いを評価し、学生指導に活用する。	Ⅱ．学位プログラムレベルのみ
17	卒業後の進路調査アンケート	卒業時	3月、9月	卒業生	卒業後の就職・進学先、在学中の資格取得状況を把握。	Webアンケート	学生部キャリアサポートセンター	DP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。進路や資格取得状況について、大学および学部学科の人材育成目標との合致度合いを検証し、授業内容やカリキュラムの改善に活用する。許可を得られた範囲で卒業生の進路先として情報公開する。	I．大学全体レベルと共通
18	卒業生ディプロマ・ポリシー達成度アンケート	卒業後	7月	卒業生	卒業後1年未満の対象者に、DPに定めた能力の達成度について主観的評価を実施。	Webアンケート	教務部教務課 IT総合学部	DP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。結果を参考に、DPの達成度が低い項目を確認した上で、ポリシーとカリキュラムの整合と改善を図るために活用する。4年分の合算により、定期的に全学的なDP達成度について情報公表する。	同上
19	卒業生フォローアップアンケート	卒業後	6～7月	卒業生	卒業後1～3年未満経過した対象者に、キャリアの変化や卒業後に取得した資格の把握、知識・技能・態度等の成果を検証。	Webアンケート	学生部キャリアサポートセンター	DP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。結果を参考に、卒業生が能力を発揮できている、もしくは、できていない項目を確認し、授業内容やカリキュラムの改善に活用する。	同上
20	卒業生の就職先企業へのアンケート	卒業後	協力企業による（不定期）	卒業生	卒業生の就職先企業に対し、DP項目の修得度合いについて評価してもらい、企業内での仕事の状況や学生時代に身に付けてほしいことを確認。	記入用シートの提出	学生部キャリアサポートセンター	DP検証	学生部内で確認した結果を踏まえ、内部質保証委員会で年に一度、エビデンスデータとして収集・共有し、カリキュラム改善と内部質保証に活用する。	同上
21	卒業生インタビュー	卒業後	不定期	卒業生	インタビュー対応可の卒業生をピックアップし、入学経緯から大学時代に培われた成果、印象に残る科目、今後の目標などをヒアリング。	インタビュー	広報メディア開発部	DP検証	インタビュー記事をとりまとめ、大学ホームページで情報公開する。学内では教職員にSlackで共有し、多様な卒業生の活躍状況や教育の成果を把握し、広報活用のほか、学内の各種支援や指導の改善に活用する。	同上
22	卒業の分析	卒業後	8月	卒業生	入学区分別に修業年限内および修業年限1.5倍以内、在学年限内の卒業率を検証。	データベースの情報を利用して実施	学生部学生サポートセンター	DP検証	全学運営委員会・教授会に報告して教職員に共有する。退学・除籍・休学の分析と合わせて履修継続支援や経済的支援の施策検討に活用する。	同上

2023年11月17日制定
2024年12月20日改定

サイバー大学 アセスメントプラン 「Ⅲ. 授業科目レベル」

サイバー大学では、アセスメント・ポリシーに基づき、入学から卒業後の各フェーズにおける学生の学修成果について、大学全体レベル、学位プログラムレベル、授業科目レベルの各段階で以下に定める様々な実施方法を用いて随時検証を行います。
以下では、「ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）」＝DP、「カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）」＝CP。「アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）」＝APと表記します。

アセスメントの目的

科目で掲げる到達目標を達成できているかどうかを客観的に成績評価し、アンケートによる学生の主観的評価の結果も踏まえて、授業内容・指導方法の改善だけでなく、学修サポートの強化と単位修得率の向上につなげることを目的とします。

達成すべき質的水準

シラバス作成ガイドラインに沿って設定された小テスト・レポート・ディベート・期末試験による各課題の配点割合に従い、100点満点に換算して60点以上を修得すること。

アセスメントの実施方法
Ⅲ. 授業科目レベル

No.	名称	フェーズ	実施時期	対象者	実施内容	実施方法	主管部署	対応するポリシー	実施結果の報告・共有・活用方法	備考
1	初年次必修科目の受講継続率・単位修得率	入学時	4～8月、10～2月	新入生	初年次必修科目の学修ログによる受講継続率および単位修得率の検証。	Cloud Campus内の学修ログで確認	IT総合学部	AP検証	授業開講期間中の全学運営委員会で隔週報告して教職員に共有する。受講継続率および単位修得率について、過去年度の同時期と比較検証して、初学期のドロップアウト防止や指導内容・方法の改善に活用する。	
2	科目の授業評価アンケート	在学時	6・8月、11・2月	在学生	すべての授業科目の最終回に行う授業内容に関するアンケートを実施。	Cloud Campus内のアンケート機能で実施	IT総合学部	CP検証	授業期間終了後に教務主任から担当教員およびTAに共有する。同一科目分野内のアンケート結果も参照できるようにし、次学期以降の授業内容や指導方法、受講奨励の改善に活用する。TAは学期末のフォローアップミーティングでアンケート結果を基にした振り返り分析を行い次学期の授業運営補助の改善に活用する。授業評価アンケート結果は、学期ごとに集計を行って情報公開する。	
3	科目の受講継続率（学期内）	在学時	4～8月、10～2月	在学生	eラーニングシステムの学修ログによる科目ごとの受講継続率の検証。	Cloud Campus内の学修ログで確認	教務部教務課	CP検証	授業開講期間中の全学運営委員会で隔週報告して科目区分単位で教職員に共有する。科目区分ごとの受講継続率について、過去年度の同時期と比較検証して、学期途中のドロップアウト防止に活用する。	
4	科目の単位修得状況・GPAの確認	在学時	3月、9月	在学生	各学期の成績情報を基に、単位修得状況の分布を把握。	履修成績システムで確認	教務部教務課	CP検証	教務部内で毎学期確認した結果を踏まえ、教授会で学期末の単位認定審査で活用する。科目ごとの成績評価の分布は履修成績システム内で統一的に管理し、課題がある場合は授業内容・指導方法を改善する。	
5	卒業研究科目の成績評価	卒業時	3月、9月	卒業生	卒業研究ゼミナールの授業運営ガイドラインに従って、大学共通フォーマットによる最終レポートを評価し、卒業時の学修成果を把握。	Cloud Campus内の成績入力	IT総合学部	DP検証	学位プログラムレベルで行う「卒業研究受講時のDP自己評価アンケート」の結果も参考に、卒業研究の成果物から教員目線での到達度合いを評価し、学生指導に活用する。	